

日々あらた

No.12

2017年10月1日発行
編集：会報編集委員会

会報編集委員会に加わって

若林 治郎

今年の6月1日から会報編集委員会に加わりました。今回は会報編集委員会についてのレポートです。会報とはシルバー須高、第58号です。

58号に限っていえば編集会議3回、発送作業1回の計4回の会議を持ちました。

最初の会議では主に会報に載せる内容について、次に誰にいつまでに原稿を依頼するのかを決めました。また会報の表紙を飾る写真をどれにするかは難問でした。最初の会議では決められず3回目最終会議でようやく決定されました。

2～3回目の会議では書いていただいた原稿をパソコン入力し、それをプロジェクターでスクリーンに映し出し委員全員で微にいり細にいり検討を重ねました。読みやすかつアピールするものにするため遠慮のない意見が飛び交いました。そのようにして最終のものができ、印刷所へ送りました。

最後は発送作業でした。出来上がったものを見て私はこの委員会が培ってきたものに驚きました。委員会はこのようにして広報に務めています。委員会ではより多くの皆様に会報に関心を持っていただきたく願っています。



編集会議の様子



発送作業の様子

交流事業に参加して

坂田 久雄



七夕交流会

7月5日(水) 子育て支援センターで行われた七夕交流会に参加した。

親が39名、幼児45名、シルバー会員が18名の参加者だった。幼児たちと初めての出会いで、どのように対応すればよいか戸惑いと不安が先に走った。

センター内に入り、幼児の独特な歓声が響き渡る中、11時から交流会が始まった。

所長先生の挨拶があり、続いて優しくわか

りやすい語り口調で織姫・彦星の話をしていただいた。

静かに話を聞いた後、小さなテーブルに親子とシルバー会員と一緒にグループに分かれて、折り紙で七夕飾りを作った。また短冊に夢や希望・願い事を書いて、笹竹と一緒に飾り付けた。それから「七夕」の歌を歌って交流会を終えた。

世代は違っても同じテーブルでひとつの目標に向かって作業をしたことに満足感を覚え、良い交流会になったと思う。

8月3日(木)には日野地域児童クラブで行われた七夕交流会に参加した。61名の児童と、シルバー会員11名の参加があった。七夕飾りをした後、「かるた」「将棋」「囲碁」などを、小学生の中に入って一緒に楽しく遊んだ。小学校低学年ともなれば、自分の意志が強く、たくましく見え、将来が楽しみな児童達だった。

8月9日(水)はシルバー高橋農園でジャガイモ掘りを行った。子育て支援センターの親子20名と東部保育園年長さん38名、シルバー会員16名の参加者で行われた。シルバー会員があらかじめ掘り起こし、親子がいも掘りしやすいようにしてあり、園児たちは泥だらけになって「おいもあったよー」と叫び、楽しんでいたのが印象に残った。事務局の皆さんから園児親子にじゃがいもが配られ終了した。

最後に、七夕交流会に2回参加し、じゃがいも掘りを体験して、園児や小学生の皆さんと触れ合い、楽しいひと時を持つことができた。

交流イベントなどがある時には、ぜひ大勢の皆さんの参加をお願いいたします。



じゃがいも掘り